

Lions

年報 No.3

1992.6



蒲郡マリンライオンズクラブ

— 目 次 —

ライオンズの誓い・スローガン	1
役員、委員会組織	2
役員一年間の回顧	4
次期役員の抱負	8
アクティビティ一覧	10
特別活動報告	11
例会活動報告	16
趣味部会活動報告	28
追 悼	30
特別寄稿	32
新入会員紹介	33
事務局日誌	37
会員年間出席表	44
受賞一覧等	50

GAMAGORI MARINE

LIONS CLUB



誓い・スローガン



LIONS の誓い

Liberty

自由

Intelligence

知性

Our Nation's Safety

国の安全

—自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる—

スローガン

○国際協会

ウィ・サーブ (We Serve)

○334複合地区

愛を惜しみなく、自然に、人間に

○334A地区

人に社会に世界を結ぶ、ウィ・サーブ

○蒲郡マリンライオンズクラブ

価値ある人生は、奉仕の心から



役員・委員会組織

第3副会長 山本 孝

PR委員会

◎榎本 尚史 ○大原 義政 ○岡田 光男 稲葉 紀勝 加藤 寿則 近藤 宏
富田 正光 鳥居 憲臣 伴 捷文 平野 優 本多 初雄 藤原 一郎

情報委員会

◎鈴木 殖夫 ○小田 幸重 大場諭暉宏 近藤 洸光 鈴木 修身 鈴木 義寛
松井 慶彦 松野 幹生 山口 正 吉見 準司

大会委員会

◎大浦 武夫 ○石川 杉夫 尾崎 保久 金森 尚弘 鋤柄 渡 鈴木 正己
鈴木 勝廣 鈴木 利夫 竹内 健 山田 金弥 大竹 敏 竹内 功

事業委員会

第1副会長 市川 直

YE・LCIF委員会

◎平野 優 ○稲葉 紀勝 ○鈴木 光喜 石田 敬二 市川 弘 尾崎 保久
尾崎 昌利 大浦 武夫 岡田 光男 近藤 洸光 鈴木 正己 滝沢 巖
山本四十三 吉見 敏春

三献推進委員会

◎夏目 憲行 ○金森 尚弘 井澤 敏雄 市川 詔一 小田 多良 小田 幸重
大岩 敏郎 加藤 寿則 河井 勤 鈴木 利夫 種井 映二 伴 捷文
牧原 清二 高林 功

第2副会長 永田 武満

環境保全委員会

◎夏目 光規 ○山口 正 小田 二郎 大場諭暉宏 鈴木 修身 鈴木 孟
竹内 健 竹尾喜一郎 徳永 由也 中瀬 充二 野田 孝道 伴 正敏
牧野 孝彦 山田 金弥 大竹 敏 吉見 重夫

社会福祉委員会

◎長田 東一 市川 英喜 大場 貴之 木村 利男 水藤 勇 鋤柄 渡
鈴木 義寛 鈴木 良朗 高橋 二郎 富田 正光 林 之洋 平野小弥太
松井 慶彦 松野 幹生 藤原 一郎

第3副会長 山本 孝

市民教育奉仕委員会

◎大原 義政 ○本多 初雄 石川 杉夫 榎本 尚史 小島 利夫 大岩 政寛
鈴木 殖夫 鈴木 敏允 鈴木 俊一 富田 武彦 夏目 勝美 野口 長務
深津 六郎 三浦 雅敏 竹内 功 味岡 正 市川 寛

薬害糖尿病委員会

◎鳥居 憲臣 ○吉見 準司 市川 貞夫 小田 昭男 近藤 宏 坂崎太豆夫
杉山 八郎 鈴木 靖夫 鈴木東太郎 鈴木 勝廣 高須 惣士 福沢 君夫
水野 雄二 竹内 良一 小田 昭二



終身青春・生涯青春

会 長

L 森 桂吾

長いようで短かった1年間の会長も旧軍隊の言葉を借りると、間もなく満期除隊となります。誠に不勉強な会長であったことをお詫び申し上げるとともに、メンバーの皆さん方のご支援に支えられ曲りなりにも会務を全うできたことを厚くお礼申し上げます。

会長を経験してみて初めてわかったことが多く、私にとっては貴重な人生体験になりました。なかでも月2回の例会挨拶で私のつまらない意見や人生観を申し上げ、皆さん方に聞いてもらえる機会を与えられたことは、会長冥利につきることであり感謝に堪えません。

また、最近の風潮が物の豊さばかりを求めて、心の貧しさに気がつかず、欲望の肥大を引き起こしています。その結果、眼をおおいたくなるような出来事が多く「ふくらんだ財布は心を軽くする」とか、「物で栄えて心で滅びる」といったことに対する心の糧になる奉仕が足りなかったことを深く反省するのであります。

「少年老い易く、学成り難し」と古人が申されましたが、若い時に十分勉強したとは言えない私のこと故、このせりふが身に沁みる今日この頃であり、いたずらに馬齢のみを重ねいつの間にか「人生七十古来稀なり」に近づいてまいりました。

「年令とは厄介な道づれだ」という諺があります。そして老害ということばも耳にいたします。しかし、反面、老人は経験と情報の塊のようなもので、「青年の時に老人の知恵があれば」とゲーテが嘆いたごとく高齢の会員になればなるほど奉仕に生き甲斐を見出し、人生の先達者として豊かな経験・知識を若い人達に伝えてほしいものと思います。

詩人のウルマンは、「人は信念とともに若く、疑惑とともに老ゆる」、さらに、「希望ある限り若く、失望とともに老ゆる」と言っております。

年を忘れて今後もライオンズクラブの心であるウイ・サーブにベストをつくしてまいりたいと念じています。

みなさん、一年間、お世話になりありがとうございました。



役員一年間の回顧



幹事という世話人に徹して

幹 事
L 市川 伊嗣

幹事という大役を引き受けて早くも一年が無事過ぎました。これも一重にメンバー各位の御理解と御協力の賜ものと深く感謝申し上げます。辞書によれば幹事とは「世話人」とあります。その点メンバー各位のお世話ができたかどうか反省いたしております。当初より「楽しい例会」をモットーとして考えてまいりました。また、今年にはガバナーが強調されたスローガンの一つである「健康なくして奉仕なし」をもとに、メンバーの自己健康管理を例会でいろいろと取り上げさせていただきましたが、皆様にとってこの一年はいかがだったでしょうか。御批判は色々伺っておりますが、お許しをいただきたいと思ひます。皆様の御期待に添えなかったことを深くお詫びするとともに、温い御協力に対し重ねてお礼申し上げます。



会計の一年目を終えて

会 計
L 嶋田 栄治

今は亡きエクステンション、ガイデングライオン故L酒井一利が一周年チャーターナイト記念式典の挨拶で、「昨日のことより今日、今日のことより明日、来年のことより4年後、5周年を大いに期待いたします」とのべられ、いっそうの飛躍を望んでおられました。バブル経済崩壊で世の中の仕組みも混乱しておりますが、こんな時代こそライオンイズムの原点である「奉仕の心」に再点火する気持ちで地球全体の生物が共存共栄できるような環境づくりに精一杯頑張ることが現在のわれわれに与えられた責務であると思ひます。そして5周年に向けて意義あるアクティビティを展開して行くことを心に念じております。任期二年間の一年目をみなさんの御協力によりつとめさせていただきました大変ありがとうございました。



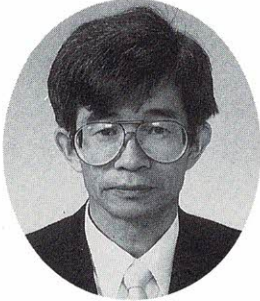
ウイ・サーブは 21世紀へ向けて

ZZ・ZC

L 深津六郎

今年、ゾーンチェアマンとして奉仕する特権にあずかったこの一年間を顧みますとき、私はライオンズクラブの使命である奉仕活動の拡張とライオニズムの高揚に取り組むべき問題を提示され、その中心となるものは未来に関する課題解決であるとの結論に達しました。この先どんな未来が待ち受けているかを解き明かす明日への扉を開くカギを、私たち一人ひとりが探し求めなければなりません。われわれがどのように明日の要求に見合った目標を立て、その実現を目指すかが、ボランティア社会におけるライオンズクラブの指導的な立場を維持できるかどうかにかかっているといても過言ではありません。ライオンズクラブが今後とも適切な行動を起こし、そして人道奉仕の果てしない限界にさらに挑戦していくには、その目標の壮大さに見合って、我々の能力を強化する必要があります。世界一の経済大国に成長したわれわれは、物量の大きいことが力であると信じて一途に経済発展の道を進んできましたが、物・数の大きさのみで発展、豊かさをとらえてきたことが単なる幻想にすぎなかったことによりやく気付きはじめた現在であります。

やがて訪れる21世紀の日本をリードするライオンズクラブは、これからどういう進路をたどるべきでしょうか。21世紀に向かっている思考と実践こそが大事な鍵を握っていると思います。蒲郡マリンライオンズクラブも5周年を間近に控えていますが、私たちの周年行事をいかに行うかをこの機会にみんなで考えるべきであります。私たちにとって周年行事とは一体何なのか、ただ単に自分たちのクラブのお祝い事としてではなく、明日への飛躍の節目としたいわけであります。そして、われわれは奉仕する、即ちウイ・サーブは21世紀へ向けての大目標であることを念頭におきたいものであります。最後に充実した一年を過ごすことができ、厚く感謝しますとともに、蒲郡マリンライオンズクラブが益々発展することと、会員みなさん方のご健勝を心から祈念してやみません。



貴重な社会福祉を体験

2R 三献推進委員

L 井澤敏雄

昨年の7月にリジョン内の初顔合せをして、早や1年が過ぎました。

蒲郡まつりでの、献眼・献腎登録キャンペーンを2R全クラブで行い、600余名の登録を得ることができました。2R内で特筆すべきは、豊川中ライオンズクラブが20周年アクトで、2217名を獲得されたことでもあります。また、豊橋東ライオンズクラブでは、成分献血411名、一般献血502名を数え、それぞれ県下一の実績を残されました。お蔭様で昨年度の倍以上の成績を収める事ができ慶びに堪えません。

献眼者は、ある日突然提供して下さるので、うれしい反面なかなか大変なお世話でした。2R三献推進委員として送りだして下さったクラブのお蔭で、貴重な社会福祉を経験することができ、ありがとうございました。



ZCの補佐役として

2Z・ZCA

L 野口長務

ZC L深津六郎の女房役として仕え、早や一年間が過ぎました。

リジョン会議、各リジョン委員会、ガバナー諮問委員会、各クラブ例会訪問等幾多の行事を通じてゾーン内の意志の疎通と活性化に努めてまいりましたが、私自身の力不足で、ただ、それぞれの場と所に応じて勉強することが精一杯であり、ZCの意図することに十分こたえられたかが心残りとなっている次第であります。

一年間微力な私を心よりご支援、ご協力くださりましてクラブ会員のみなさん本当にありがとうございました。

一年間の
マラソンランナーとして

次期会長

L 市川 直

「朝顔につるべ取られて貰い水」という有名な俳句があります。私はこの俳句から植物に対するひたむきな愛情と温いいたわりの心の重要性を強く感じます。

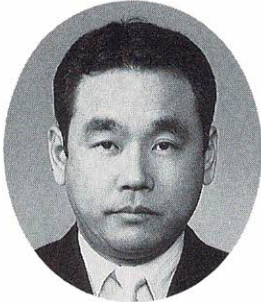
植物も愛情を込めて育てていけば、やがてきれいな花を咲かせ価値ある実を結んでくれます。

愛の心や奉仕の精神が大事だと分かってはいても、お互いに相手が人間となるとなかな草花のようなわけにはまいりません。相手からの見返りを期待しないで、自分自身本当の奉仕の心を培い養うことに今年は徹したいと思っています。

さて、昔からよくいわれる「駕籠に乗る人・担ぐ人・そのまた草鞋を作る人」という諺があります。過去において私はライオンズクラブの会計・幹事をそれぞれ留年して2年ずつやりましたので、いわゆる草鞋を作ったり駕籠を担いだりすることは得意な方がありますが、今度はいよいよ駕籠に乗って担がれる役になるわけであります。ご覧のとおり体が大きく目方が重いので担ぐ役の幹事や役員の方々もさぞかし大変だろうと思います。私の経験不足やミス操作により途中で引きずり降ろされたり、スピードの出し過ぎで障害物に衝突したり、道を間違えてとんでもない方向へ走ったりしないようにしたいとひたすら念じています。会員の皆さん方の御協力と御指導のもと、一年間におよぶ長距離マラソンレースの終着ゴールへ無事到着するよう、精一杯頑張る覚悟であります。もし、へばったり気力を失いかけてたりした時には叱咤激励してください。そしてクラブの発展を願っての強い応援を心からお願いして、挨拶といたします。



次期役員の抱負



幹事の任務を忠実に

次期幹事

L 大岩政寛

ライオンマンとして半人前にも満たない私に突然“幹事指名”という思いもかけない話があった時には、一瞬たじろいでしまいました。大変光栄なことではありますが、これまでのL市川（直）、L木村、L市川（伊）3名の先輩幹事の優れた足跡を汚さぬためにも私のような如き若輩者は断固として辞退申し上げるべきだったと今更ながら後悔しています。しかし、それもままならぬ組織決定ということでもあるし、私がライオンマンとして、また、一企業人として一つのハードルを跳び越すための試練の場を与えられたのだと考え、チャレンジすることを決心しました。非才な私はこの重責に耐え、期待に応える自信は全くありませんが、市川会長や会員みなさんの御指導御鞭撻をいただいてひたすら会則第7条D項(4)にある「幹事の任務」を忠実に遂行する努力をしまいる覚悟であります。

自然にやさしい
アクティビティを

2R 環境保全公衆安全委員

L 榎本尚史

この度浅学非才を省みず、皆様のご承認をいただき、2R 役員の大役をお引き受けすることになりました。ライオン歴も浅く、日頃の不勉強が重り困惑いたしております。会員諸兄のご指導、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

さて、先般行われました「世界賢人環境会議」「地球サミット」等をはじめ環境保全の問題提起と解決への模索は大きく広がりつつあります。次年度地区運営基本方針の1つに「自然環境にやさしいアクティビティを」として特に取り上げられました。私達人間は問題の原因を作りだした立場であると同時に、事態を好転させてゆく主役にもなりうるわけです。この点からライオニズムに則りクラブ、リジョンをあげて強力に運動を展開し、地球環境の危機に貢献したいと存じます。